

区自治協議会の主な議事 (抜粋)

平成26年10月(第7回)～平成27年1月(第10回)

中央区 教育ミーティングの開催について(第7回)

事務局 本年度2回目の中央区教育ミーティングの実施時期、懇談テーマを説明

委員

- 質問の事前回答や質問状況の開示について提案
- テーマ以外の質問の受け付けや回答について質問関連質問

1. 教育委員会と学校の関係
2. 各学校での諸問題への教育委員会の対応体制
3. 学校と地域の連携における地域差への対応
4. 学力テストの結果公表による学校格差や競争への懸念
5. 大規模校と小規模校の学力格差

特色ある区づくり事業予算(第8回)

事務局 平成27年度特色ある区づくり事業の事業案および区民の皆さんから寄せられた意見を説明

委員 外国人向け魅力発信事業に対し、居住外国人が日本人との交流により情報交換ができるよう提案

鳥屋野潟湖岸堤整備(第9回)

事務局 整備の現在の進捗状況および地域住民への説明会、鳥屋野潟環境対策検討委員会などの今後のスケジュールを説明

委員 平成24年に中央区自治協議会が開催した「鳥屋野潟シンポジウム」での説明以降の進捗状況や変更点について質問

水と土の芸術祭2015実施計画(案)(第9回)

事務局

- 基本計画、開催趣旨・要領、事業内容、作品一覧、

広報、料金設定を説明

- 会場へのアクセスにおけるシャトルバスの運行計画の内容および市連携事業について説明

委員

1. 広域連携の取り組みについて質問
2. メイン会場である旧二葉中学校付近の交通対策、駐車場対策、飲食場所について質問・意見
3. 展示内容や作品の選定方法について質問・意見
4. 誘客方法について意見
5. 商店街などとの市内連携事業の申し込みスケジュールについて質問
6. 新潟の「水」に関わる魅力の発信方法について意見



水と土の
芸術祭
Water and Land
Niigata Art Festival 2015

新潟市教育ビジョン第3期実施計画(案)のパブリックコメント実施(第9回)

事務局 平成27年度からの5か年の同計画について、継続する施策、新たな教育課題への対応施策などを説明

委員 地域に根ざした歴史教育について意見

地域ミーティングin中央区の開催について(第10回)

事務局 市長が地域の皆さんと意見交換を行う標記ミーティングを、中学校区単位で開催することを説明

委員 意見交換の時間について質問・提案

自治協議会の議事の内容は、区自治協議会のホームページ (http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/jichikyokaigi_kaisai) = QRコード=で全て公開しています。



第10号

だより

自治協議会

中央区

平成27(2015)年 3月1日

今年度後期の中央区自治協議会全体会(4回)で話し合われた議事の中で、委員が質問・意見・提案を述べたものを抜粋しました。3つの専門部会の報告は、2年間の活動内容やこれからの取り組みの方向性が明確になってきています。

水辺とみなとのまち部会

海岸 河川 鳥屋野潟 みなと 観光

「北前船時代の新たなまち並みづくり」への提言書提出



みなと新潟の未来のまちづくりのシンボルに「北前船時代の新たなまち並みづくり」を提言しようと、平成25年4月から毎月、調査・研究活動を展開し、このほど提言書(案)をまとめました。=写真=

内容はA4版4ページにわたり、この企画のねらいと背景を前提に、「①早川堀ゾーン②古町花街・西大畑ゾーン③万代・沼垂ゾーン」の3地域が目的に最もふさわしい拠点ゾーンとして指定しました。

裏付け資料として、国の『重要伝統的建造物群保存地区』に指定されている佐渡市宿根木集落での研修結果、北前船に関する調査・研究報告、市民アンケート結果、市民フォーラムの記録、参考文献などを添付しました。

3月20日(金)開催の第12回自治協議会全体会の承認を経て、提言書を区長に提出する予定です。

編集後記

今年度最後の中央区自治協議会だより第10号をお届けします。

区自治協議会で話し合われた議事を抜粋し、前号と今号で掲載しました。

4月からは第5期中央区自治協議会がスタートします。編集委員も交代しますが、地域住民と行政との「協働の要」になれるように、引き続き努めてまいります。

中央区自治協議会だより編集部会

(事務局 地域課内 ☎ 223-7023)

人にやさしい暮らしのまち部会

防災 安心・安全 教育 福祉

シンポジウム「助け合いのまちづくり」3月21日開催

今年度の提案事業「超高齢・人口減少社会における地域コミュニティの役割の検討」に関わる「地域コミュニティの役割」を探るため、昨年末に自治・町内会長のご協力を得て、アンケートを実施しました。

367の自治・町内会から回答を頂き、回収率は71%でした。報告や意見の記述も多く、この問題に対する関心の高さを示していると考えます。



アンケート集計中

当部会では、この貴重なアンケート結果を報告書にまとめ、健康福祉課と共催する「助け合いのまちづくりシンポジウム」=中央区だより2面に掲載=で発表します。当部会からはパネリストとして参加します。

安心して暮らせる地域を実現することへの取り組みは、超高齢化社会の重要な課題です。

報告書の内容は来年度以降の検討事項として引き継いでいきます。

地域と学校の連携を議論 教育ミーティングを開催

昨年12月19日、「地域と学校の連携について」をテーマに、今年度2回目の中央区教育ミーティングが開催されました=写真上=。中央区自治協議会からは23人が参加し、教育委員や教育委員会事務局と意見交換を行いました。

主な質疑応答の内容は以下のとおりです。

- 学校支援ボランティアの人員数の現



拠点と賑わいのまち部会

まちなか再生 新交通システム 賑わいづくり 「都心」の魅力とその将来

昨年11月22日に中心市街地活性化フォーラム「地域で考える『都心』の魅力とその将来」を開催。下記の新潟駅周辺・万代・古町の3地区の代表から、それぞれの活動内容を発表していただきました=写真=。



コーディネーター 平川毅彦(新潟青陵大学教授) パネリスト 山口浩二(市南商工振興会副会長)、齋藤正行(万代シティ商工連合会商店街振興組合副理事長)、松崎利春(市中心商店街協同組合理事長)、池田博俊(市都市政策部長) ※敬称略

パネルディスカッションでは「各地区が主体性を持って行動し、他の地域と協働して活性化を」などの意見が出され、これら3地区における将来的な連携の可能性を各パネリストの立場から聞くことのできる有意義な2時間となりました。

フォーラム当日に来場者アンケートなどでお寄せいただいたご意見は、来年度以降の提案事業に活かしていけるように検討を進めていきます。

状、募集方法、ほか

- 地域教育コーディネーターの男女比
- 学童保育での指導方針や活動内容、地域コミュニティ協議会への運営委託について
- 日和山小のひまわりクラブ、女池ひまわりクラブの施設について
- 学区外就学児への地域からの協力内容について
- PTA活動の広報について
- 日和山小への教員の統合加配について

※中央区役所などの電話番号一覧は本紙2面に掲載